

令和5年度第3回学校関係者評価委員会報告

1 日時 令和6年2月8日(木) 15:00～委員会

2 学校関係者評価委員

大口中央中学校長	竹ノ山 誠 忠
大口高等学校PTA会長	別 府 弘 律
大口高等学校PTA副会長	荳 口 桂
大口高等学校同窓会長	出木場 洋
地域住民代表	前 畑 竜 郎

3 学校職員の出席者

校長, 教頭, 事務長, 教務主任, 生徒指導主任, 進路指導主任, 保健主任

4 内容

- (1) 開会の挨拶(教頭)
- (2) 校長挨拶
- (3) 最終報告
 - ① 各部・各学年の取組, 年間反省と課題等の報告(各主任)
 - ② 学校評価アンケート結果について(教頭)
- (4) 質疑応答, 意見交換, 大口高校への提言等
- (5) 閉会の挨拶(教頭)

5 主な質疑応答, 学校への提言等

- ・ 大規模改修はどのくらいの規模で行われるのか?
→管理教室棟の外壁と内部を改修予定。特別教室棟の保健室, 図書室, 情報処理室も管理教室棟へ集約する。時期については, 来年度から開始するが具体的な日程は未定。
- ・ 来年度の2年生について, タブレットの購入が困難な生徒はどうするか?
→経済的に購入が困難な生徒へは, 引き続き県教委から貸与されている。
- ・ 生徒たちの中には, 目先の事だけで将来のビジョンが見えていない生徒が多いのではないか?
→「総合的な探究の時間」の活動や進路講演会等を通して, 幅広い視野を身につけさせたい。
- ・ 遅刻の多い生徒や不登校気味の生徒への対策は?
→担任が保護者と連携をとりながら対応している。不登校気味の生徒については, スクールカウンセリング等も活用して改善に努めている。
- ・ 学年別朝礼時に行うスピーチは貴重な体験だと思う。社会人にとっては自己管理能力も重要なので高校でも鍛えて欲しい。
- ・ 今年の文化祭は久しぶりに活気があった。来年度は体育祭も復活すると聞いている。生徒には行事に積極的に取り組んで欲しい。
- ・ 大口中央中出身の生徒が多いので, 大口高校の課題は大口中央中の課題でもあると考えている。そういう意味からも中高の更なる連携が必要である。
- ・ 中学校では, タブレットを利用して課題を提出させることで提出率が上昇した。
- ・ 中学校では, 今後の進路指導に役立てるために, 卒業生を対象としたアンケート(受検する高校を決定したきっかけや時期など)の実施を計画している。